

# 顯正寺だより

平成30年1月発行 No6  
四日市市西日野町2970  
TEL 059-321-0225

明けましておめでとうございます。昨年を表す文字は「北」。この文字には二人の人が背を向けていることも表しているとのこと、昨年は「……ファースト」と自分さえ良ければといった言葉も蔓延しました。しかし、今年は本寺として大切にしている「徳」の文字に込めた「人徳・業徳・国徳」を座右の銘に、平和な社会が続くことを心より念じています。

**人徳**：人は、一人だけで生きているのではなく、周りの沢山の方のおかげで生きている→生かされている

**業徳**：企業は経営者だけでなく、株主・従業員・取引先・地域住民の事も考えて

**国徳**：国の平和や繁栄は、他国の犠牲の上に成り立ってはならない

## 高田山専修寺の御影堂・如来堂が国宝に



### 〈御影堂〉

正保二年(1645)の大火による伽藍焼失後、津藩から寄進された新境内地に建設されました。寛文六年(1666)に上棟、延宝七年(1679)に落慶法要が行われました。

聖人の木像を中央須弥壇上に安置し、歴代上人の画像を両脇壇および、両余間に敬置するお堂となっております。畳七百二十五枚が敷かれており、全国の現存木造建築の中でも五番目の巨大な堂です。又、御影堂が巨大な空間の建築物であるのに対して、如来堂は質的に高度な建築物とも評されております。

(高田本山ホームページより)

### 〈如来堂〉

建築面積は御影堂に比べるとおよそ半分程ですが、阿弥陀如来の仏殿にふさわしい華麗な建築となっている。

屋根を二層として、棟の高さを御影堂とほぼ等しくしているのも、本堂としての威容を示すためだと伺える。上棟は延享元年(1744)3月24日、落成遷仏は寛延元年(1748)7月18日である。

昭和58年(1983)から七年半の歳月と総工費十四億八千万円をかけて大修理工事が実施され、平成2年(1990)3月に修繕工事が完成した。

(高田本山ホームページより)

# 平成30年(2018年)の主な行事

1月：1日－修正会、年賀ご挨拶  
2日－村内ご挨拶  
3日－松本道場修正会  
・報恩講  
15日－御正忌・お汁講  
25日－祥月経  
2月：3日・4日－松本道場永代経  
25日－祥月経  
3月：25日－祥月経  
30日・31日－春季永代経  
31日－春季御繙き  
4月：25日－祥月経  
5月：25日－祥月経  
6月：25日－祥月経  
7月：25日－祥月経

8月：8日～15日－お墓勤め  
14日－歓喜会・お盆ご挨拶  
13日－東日野大念仏  
15日－西日野大念仏  
25日－祥月経  
9月：15日－お汁講、  
21日・22日－秋季永代経、  
22日－御繙き  
25日－祥月経  
10月：25日－祥月経  
11月：25日－祥月経  
12月：7日－報恩講  
25日－祥月経  
31日－除夜の鐘

## 謹んでお悔やみ申し上げます

顯正寺、放光寺の壇信徒の方で、昨年浄土に往生された方は次の通りです。  
謹んでお悔やみ申し上げます（敬称略）

□佐藤 正則（82歳）1月6日（顯正寺）	□高橋 涉（80歳）5月22日（放光寺）
□後藤 量正（82歳）1月6日（他所）	□伊藤 アキ（80歳）5月24日（顯正寺）
□後藤志づの（97歳）1月11日（顯正寺）	□古川 浅一（95歳）5月31日（放光寺）
□古川まさ子（92歳）1月12日（放光寺）	□川島 宏子（80歳）6月5日（顯正寺）
□平井 力彌（85歳）1月14日（放光寺）	□眞弓 夏江（82歳）6月8日（顯正寺）
□鈴木 和（77歳）1月28日（顯正寺）	□平井 克樹（85歳）6月20日（放光寺）
□後藤 勝（91歳）1月31日（放光寺）	□川島 英治（68歳）6月25日（顯正寺）
□平井ひで子（85歳）2月4日（放光寺）	□平井よ志子（81歳）8月31日（放光寺）
□後藤ふみを（92歳）2月24日（放光寺）	□後藤 美治（85歳）10月15日（放光寺）
□平井 静子（90歳）2月26日（顯正寺）	□大平 いと（93歳）10月25日（放光寺）
□平井 善三（86歳）3月27日（放光寺）	